

『英検 1 級 速読で覚える英単語』（第 1 刷）に関する誤植のお詫び・訂正のお知らせ

この度は『英検 1 級 速読で覚える英単語』（2025 年 4 月 8 日発行第 1 刷）をご購入いただきまして誠にありがとうございます。大変申し訳ございませんが以下のページに誤表記がございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

ページと行数	誤	正
p.39 日本語訳 2 行 目	この過程は適応力を確保するだけでなく、目まぐるしく変化する世界において、関連する <b>4 専門知識</b> が徐々に <b>3 低下する</b> のを防ぎます。生涯学習の <b>5 頂点</b> には好奇心があり、それが発見を呼び起こし、回復力を育みます。	これらの変革の <b>3 波</b> に乗って生涯学習を行うことで、適応力が確保され、目まぐるしく変化する世界において関連する <b>5 専門知識</b> が徐々に <b>4 低下する</b> のを防ぐことができます。生涯学習の頂点には好奇心があり、それが発見を呼び起こし、回復力を育みます。
p.65 日本語訳 2 行 目	デジタル画面の <b>2 急増</b> は視覚に大きな負担をかけ、しばしば <b>4 不快感</b> や疲労に関する不満の <b>3 反動</b> を伴っています。このような問題を <b>5 和らげる</b> ために、20 分ごとに遠くのものに焦点を合わせるという、20-20-20 の法則のような戦略を採用することが効果的であると証明されています。	デジタル画面の <b>2 急増</b> は、視覚に大きな負担をもたらし、しばしば <b>3 不快感</b> や疲労に関する苦情の急増を伴っています。この増大する問題は、ブルーライト暴露の長期的影響について警告する健康専門家の <b>4 反発</b> を呼んでいます。このような懸念に対して、20 分ごとに遠くのものに焦点を合わせるという、20-20-20 の法則のような戦略を採用することが、デジタル眼精疲労の懸念を <b>5 和らげる</b> のに効果的であることが証明されています。